

## 「北九州SDGs登録制度」申請書

北九州市長 様

所在地 北九州市戸畑区 大字中原46-59

団体名 日鉄エンジニアリング株式会社

代表者 取締役常務執行役員/北九州技術センター長 石田 吉浩

「北九州SDGs登録制度」について、関係書類を添付の上、下記のとおり申請します。

## 団体概要

(ふりがな)	にってつ えんじにありんぐ かぶしきがいしゃ	
団体名	日鉄エンジニアリング株式会社	
(ふりがな)	いしだ よしひろ	
代表者氏名	石田 吉浩	
所在地	市内事業所	北九州市戸畑区 大字中原46-59
	主たる事業所	東京都 品川区 大崎一丁目 5番1号大崎センタービル
事業概要	環境・エネルギー、都市インフラ、製鉄プラントの分野で国内外において数多くのプロジェクトを手掛け、持続可能な循環型社会の構築に貢献しています。	
企業・NPO法人等の別	企業	
業種（企業のみ）	建設業	
従業員数（企業のみ）	301人以上	
ホームページの有無	有	
ホームページURL	<a href="https://www.eng.nipponsteel.com/">https://www.eng.nipponsteel.com/</a>	


































## 連絡先

担当部署	総務部 北九州総務室
担当者	北九州総務室長 樋口 哲朗
電話番号	090-2622-6865
メールアドレス	<a href="mailto:higuchi.tetsuo.d8p@eng.nipponsteel.com">higuchi.tetsuo.d8p@eng.nipponsteel.com</a>

## 提出書類

- ・様式1：SDGs達成に向けた取組状況（チェックシート）
- ・様式2：SDGs達成に向けた宣言書
- ・様式3：地域課題への取組み

SDGs達成に向けた取組状況 (チェックシート)

No.	チェック項目	分類	関連する認定・表彰制度 取得していれば「具体的な取組内容」の記載は不要です	関連する主なゴール・ターゲット			具体的な取組内容	最も関連性のある ゴール・ターゲット	最も関連性のある 「北九州市SDG 未来都市計画」 の指標や取組
1	温室効果ガスの排出を抑制するため、エネルギーの使用状況の把握や使用効率の改善、再生可能エネルギーの利用などに取り組んでいる。	環境 (CO2削減)					(1)北九州技術センターにおいては、太陽光発電、地中熱利用に加え、ビルのLED化を推進中。また、BEMSによるエネルギー使用量の把握・管理と省エネ見える化システムを利用した従業員への啓発活動を実施している。 (2)工事現場から排出される単位施工高あたりの温室効果ガス量の把握に取り組んでいる。	指標	
				7.2	9.4	13.3		ゴール13	環境 (1) ②
2	事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行っている。 3R (リデュース、リユース、リサイクル) を実施するなど、循環型社会の構築に取り組んでいる。	環境 (廃棄物削減)					(1)「事業系廃棄物の再利用又は再生利用に関する計画書」を作成し、3Rを推進。最近では、①紙の使用量削減及びリサイクルによるごみの減量化、②社員食堂の食品残渣の肥料化等の取り組みを強化している。 (2)工事現場の産業廃棄物排出量に占める直接最終処分比率を把握し、対外開示している。	指標	
				9.4	12.3、12.5	13.3		ゴール12	環境 (2) ②
3	事業に伴う調達 (原材料、部品、資材、サービス、使用する設備や事務用品等) について、環境負荷や人権などに配慮している。	環境・社会 { サプライチェーン管理 }					(1)各種契約約款において、人権の尊重・環境保全の推進等についての遵守を規程し、全額優先と締結している。また、調達先にアンケートを実施し、人権侵害に関する意識調査、環境への取組みに対する意見集約を行っている。 (2)オフィス用紙/会社の発行物に使用する紙は強力FSC森林認証紙を選定している。 (3)顧客向け贈答品として、障がい者施設で製造されたクッキーを調達している。	指標	
				10.2	12.2	13.3		ゴール10	環境 (1) ①
4	商品やサービスの安全性を担保する体制を整備すると共に、品質の向上や新たな技術の開発等に取り組んでいる。	経済・社会 (技術向上)					(1)品質マネジメントシステムの運用により品質改善・向上を継続的に実施している。 (2)品質に関する専門講座及び事例検討会を開催し、社内の専門家を育成。また、品質に関する技術基礎講座、品質講座を毎年開催している。 (3)北九州市内に技術開発研究所を置き、大学・公的試験機関等との共同研究も含めた研究開発を推進している。	指標	
				8.2	9.5	12.5		ゴール9	環境 (1) ①
5	環境に配慮した商品やサービスの開発や、社会課題の解決につながる商品やサービスの提供に取り組んでいる。	環境・経済・社会 (商品開発)					ニュートラル・循環型社会の構築に貢献している。 (2)北九州においては、風力発電 (NSウィンドパワーひびき)、下水汚泥事業 (日明汚泥燃料化センター)、廃棄物発電施設 (新門司工場、新日明工場) の建設・運営・維持管理等を行っている。 (3)北九州市と協定を結ぶ東南アジアの低炭素社会推進事業へ参加している。	指標	
				7.2	9.4	13.3		ゴール7	環境 (1) ア
6	長時間労働の防止、テレワーク等の多様な働き方の導入など、良好な労働環境の整備に取り組んでいる。	経済・社会 { 労働環境整備 }					(1)PCログ等を用いて勤務管理を徹底し、長時間労働を防止している。 (2)年休取得奨励日の設定の他、有給休暇取得が困難な施工管理者等向けのインターバル休暇制度、繰越年休を積立できるワーク・ライフ・バランス休暇制度等を整備している。 (3)テレワークが可能な制度やICT環境を整備し、多様な働き方をサポートしている。	指標	
				3.4	5.5	8.8		ゴール8	環境 (1) ②
7	年齢、性別、国籍、障害の有無等による不当な差別を防ぐ体制の整備など、あらゆる人材が活躍できる環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ジェンダー平等 }					(1)女性活躍推進法に基づき行動計画を定め、目標達成に向けて、各種施策に取り組んでいる (2017年「えるぼし3段階目」認定取得)。 (2)障がいを抱える社員が働きやすい環境を整備し、障がい者の雇用確保に努めている。 (3)外国人留学生の採用に積極的に取り組んでいる。	指標	
				5.5	8.5、8.8	10.2		ゴール5	社会 (1) ②
8	セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、マタニティハラスメントなど、あらゆるハラスメント行為を防止するための体制を整備するなど、良好な職場環境の構築に取り組んでいる。	社会 { ハラスメント防止 }					(1)コンプライアンス基本方針にハラスメント防止を明記。トップメッセージの発信や階層別研修、e-ラーニング等で社員への啓発活動を実施している。 (2)社内・社外にハラスメントに関する相談窓口を設置し、運用・改善を図っている。	指標	
				5.1、5.4	8.8			ゴール8	社会 (1) イ
9	疾病予防や早期発見、良好なメンタルヘルスの維持など、従業員の健康維持に取り組んでいる。	社会 (健康経営)					(1)経産省の健康経営優良法人の認定を取得。従業員に対して健康診断、ストレスチェックを行い、必要に応じて産業医面談を実施している。 (2)グループ全体で「健康チャレンジキャンペーン」を実施。また、毎年、全国労働衛生週間に合わせて、健康促進イベントを開催している。 (3)感染症拡大防止のため、オフィス環境整備やテレワーク、時差出勤奨励などの対策を実施している。	指標	
				3.4	8.8			ゴール3	社会 (3) ①
10	全ての従業員にスキルアップのための研修等の機会を提供すると共に、社会に役立つ情報や外部への発信やインターンシップの受け入れなど、社内外にわたる人材の育成に取り組んでいる。	経済・社会 (人材育成)					(1)人材開発体系に基づき、プロフェッショナル養成とチームビルディング強化に向けた各種研修、進路教育、資格取得支援等を行っている。 (2)大学生向けのインターンシップや、高校生向けのエンジニアリング教育プログラム、小学生向けの出前授業等を企画、実施している。	指標	
				4.4	8.2、8.6	17.17		ゴール4	社会 (4) イ
11	反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄・不正競争行為の防止など、法令を遵守する体制を整備している。	社会 (不正防止)	北九州市入札参加資格有資格者名簿への登録					指標	
				16.1、16.3、16.5				ゴール16	環境 (1) ②
12	自社のSDGsの取組みをマネジメントする担当や担当部署を設置し、CSV (※) などを適切に推進すると共に、災害時等の事業の継続や事業承継など持続可能な事業経営に取り組んでいる。	経済・社会 (持続可能性)					(1)社長を審議会長とする「サステナビリティ審議会」を年4回開催し、SDGsも含めたサステナビリティ推進のPDCAを審議している。 (2)「サステナビリティ・広報部」を設置し、社会課題の社内共有やサステナビリティ活動の対外発信 (サステナビリティ・レポート、HP等) を行っている。 (3)危機管理基本規程を制定し、BCP体制の整備や定期訓練の実施等により、災害発生等の有事に備えている。	指標	
				11.b	12.6	13.1		ゴール12	環境 (1) ②

※CSV (Creating Shared Value: 共通価値の創造)  
企業が社会課題に取り組み、社会に対して価値を創造することでビジネス (経済的な価値) を創出すること。

## SDGs達成に向けた宣言書

宣言日 令和3年9月28日  
 団体名 日鉄エンジニアリング株式会社

私たちは、SDGsの内容を理解し、SDGsの達成に向けた方針及び取組を以下のとおり宣言します。

## ◆ SDGs達成に向けた取組方針等

当社はSDGsに賛同し、国内外の脱炭素化・国土強靱化に大きく貢献するエンジニアリング企業であり続けることを目指しています。中期経営計画（2021-2025）においては、SDGsの17ゴールの中で、特に注力する目標を6つ（7、9、11、12、13、14）掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。

## ◆ SDGs達成に向けた重点的な取組

達成を目指す分野に「○」		SDGs達成に向けた重点的な取組	指標（KPI）・目標値 ※目標値は、いずれかの目標年で設定してください。		最も関連性のある「北九州市SDGs未来都市計画」の指標や取組 ※どちらか一方のみの記載で構いません。
経済	○	エンジニアリング会社として、カーボンニュートラル・循環型社会の構築に貢献する。	指標 (KPI)	脱炭素・低炭素商品の売上比率	指標
社会			目標値		環境（1）①
環境	○		その他 (その他の場合) (2025)年	50%超	具体的な取組 経済（1）オ
経済		女性活躍推進法に基づく行動計画を定め、目標達成に向けて、各種施策に取り組んでいる（2017年「えるぼし3段階目」認定取得）。	指標 (KPI)	①女性管理職数 ②新卒総合職女性採用比率	指標
社会	○		目標値		社会（1）③
環境			その他 (その他の場合) (2025)年	①2倍（対2020年度末） ②15%以上	具体的な取組
経済		大学生向けのインターンシップや高校生向けのエンジニアリング教育プログラム、小学生向けの出前授業等を企画・実施している。	指標 (KPI)	参加する学生・生徒・児童数	指標
社会	○		目標値		具体的な取組
環境	○		その他 (その他の場合) (2025)年	5年間でのべ2,000名 (2021-2025年)	社会（4）イ

## 記載について

- 「SDGs達成に向けた重点的な取組」は、3つまでご記入できます。
- 必ず全ての分野（経済・社会・環境）の達成を宣言してください。  
（1つの取組みで3つの分野を達成しても、複数の取組みで3つの分野を達成しても構いません）
- 指標（KPI）は、原則として数値目標を記載してください。

## 地域課題への取組み

団体名 日鉄エンジニアリング株式会社

私たちは、地域課題の解決を通じてSDGsを達成するため、北九州市の取組みに参加しています（今後、参加します）。

取組名	具体的な取組内容
8 地域コミュニティ活動への参加	北九州市内の地域のお祭りに会社として参加している。 ①わっしょい百万夏まつり「百万踊り」の部 ②まつり起業祭/八幡東田25時間ウルトラ駅伝
99 その他（市と連携した取組み）	10月の北九州エコマンス等にあわせて、事業所周辺のごみ拾いを実施（春・秋、2回/年）し、SDGs目標11や目標15に貢献している。
99 その他（市と連携した取組み）	北九州活性化協議会の「北九州の企業人による小学校応援団の学校応援プロジェクト」事業に参画、市内の小学校への出前授業を継続実施することで、SDGs目標4や目標17の達成に寄与している。
99 その他（市と連携した取組み）	毎年エコテクノに出展し、地元企業として事業活動やサステナビリティへの取り組みを発信することで、SDGsの認知度向上に貢献している。

### 記載について

- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」の中から、現在取り組んでいるもの（今後取り組むもの）を少なくとも一つ選択し、具体的な取組内容を記載して下さい。
- ・これから取組みを始める場合は、選択した取り組みの担当部署に連絡をし、所定の手続きを済ませた上で本書を提出して下さい。
- ・参考「企業等が参画可能な取組一覧」以外で、貴団体が自主的に行っている取組みについても、併せて記載いただいても構いません。